



## DuMA ニュースレター

2025年10月27日

### 根室沖で M5.9 の地震発生

2025 年 10 月 25 日 1 時 40 分ごろ、根室半島南東沖で最大震度 5 弱を観測した地震が発生しました。マグニチュードは速報値で 5.9 と報告されています。



当該地域では、10月22日にもマグニチュード5.1の地震が発生しています。

DuMA では、主に内陸直下型地震を対象とした解析で、これまで何度も根室・釧路のすぐ沖合で地震活動静穏化(地下天気図で青い部分)が観測されている事、但し、この異常は発生対象を M6 クラスまでカバーするようなパラメータの解析でのみ静穏化が見られる事から、DuMA ダッシュボード(例えば先々週の 10 月 13 日号)では以下のコメントをしておりました。

更新日 2025.10.13

地下天気図® 解析	地域	警戒度 (異常の確度)	現状	静穏化・活発化期間		予測有効期間 関連情報	備 考
				いつ頃から	いつ頃まで		
静穏化異常 <u>継続中</u>	北海道根室・釧路 沖 (Gg)	Low	静穏化異常の中心は釧路 沖の海域と考えられる	2024年11月	<u>2025年5月</u>	2025年中	2025年4月21日の北海道の解 析では異常が見られない事か ら精度を Low とした。発生し ても M6 程度か

ただ、「いつ頃まで」の欄が「2025 年 5 月」となっておりました。また第一カラムも異常が「継続中」という表記で、自己矛盾しておりました。これは私共の転記ミス(記載ミス)でした。大変申し訳ありませんでした。その前の DuMA ダッシュボードは 2025 年 7 月 21 日号では、以下のように「いつ頃まで」は「継続中」となっており、こちらが正しい記載です。

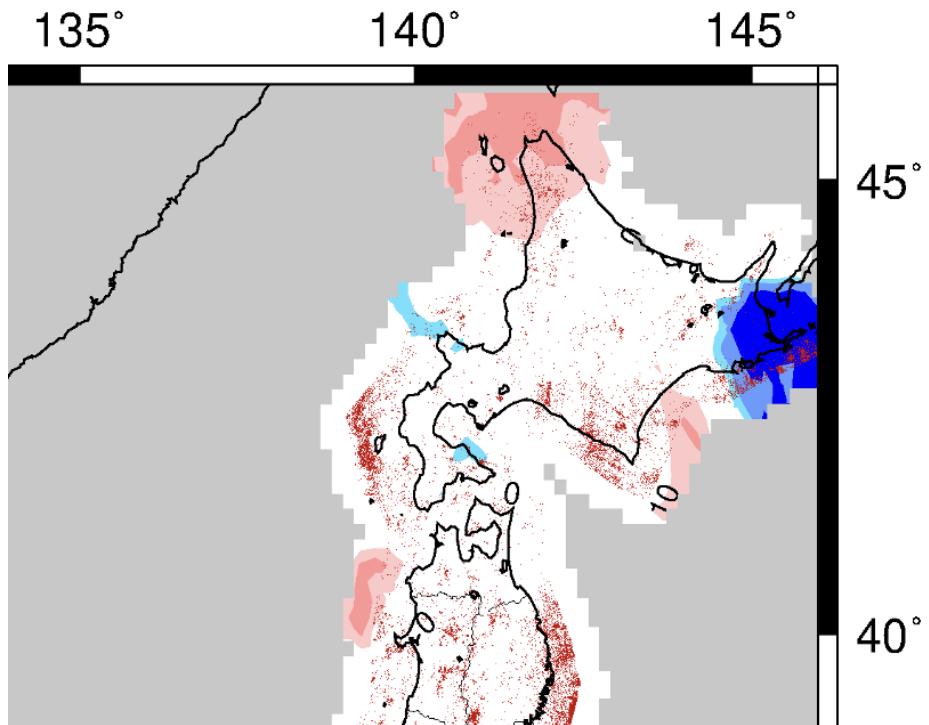
更新日 2025.7.21

地下天気図® 解析	地域	警戒度 (異常の確度)	現状	静穏化・活発化期間		予測有効期間 関連情報	備 考
				いつ頃から	いつ頃まで		
静穏化異常	北海道根室・釧路 沖 (Gg)	Low	静穏化異常の中心は釧路 沖の海域と考えられる 発生しても M6 程度か	2024年11月	継続中		2025年4月21日の北海道の解 析では異常が見られない事か ら精度を Low とした

来週号で内陸直下型地震を対象とした解析を行う予定ですので、その時に静穏化がどのように推移しているか確認し、ご報告させて頂きます。



ちなみに9月22日のニュースレターでお示しした日本列島陸域近傍の地下天気図の北海道周辺部分を再掲いたします。この異常を10月13日のニュースレターで、「継続中」とすべきところを「2025年5月」と誤記していたのです。



9月22日のニュースレターの地下天気図の一部。この解析では静穏化は解消していなかった

### 北海道および九州の地下天気図®

今週号では、9月8日のニュースレターに引き続き、北海道と九州および南西諸島を含む領域の地下天気図をお示します。いずれもLタイプとなっています。

### 北海道の地下天気図

次の地下天気図は10月23日時点のLタイプ地下天気図です。対応する地震活動はマグニチュード7クラスを考えています。

一番顕著な異常は、青森沖(十勝沖)における静穏化です。この静穏化はMタイプでも確認できています。それ以外では、釧路・根室沖では、上にお示したM6クラスを想定した解析と違い、赤くなる地震活動活発化領域が出現してきた事です。

### 九州および南西諸島の地下天気図

福岡県・佐賀県およびその日本海沖合にかけての地震活動静穏化はかなり顕著な静穏化を示しています。ただし九州北部、特に佐賀県はもともと地震があまり発生しない地域であるため、計算に使用できる過去の地震総数が、例えば熊本地震の発生した熊本県と比較すると少なく、異常をどう評価するかは難しいところです。前回と同じコメントとなりますが、要注意な状態である事は確実です。

